

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公開番号】特開2005-328932(P2005-328932A)

【公開日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-047

【出願番号】特願2004-148437(P2004-148437)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

A 6 1 B 6/00 3 2 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月4日(2006.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

横臥式撮影か立位式撮影かのいずれかの撮影術式を選択しX線管のX線撮影条件を設定するX線制御装置と、高電圧発生装置から高電圧が印加されるX線管を天井走行式で吊設保持するX線管保持装置と、前記撮影術式を識別する制御部と、撮影のための操作条件を設定し操作信号を発生させる操作パネルと、前記X線管保持装置の作動によってX線管が撮影位置にセットされ撮影を行う複数の撮影台と、前記天井走行式で懸垂されプリセットされた撮影位置でX線管保持装置を一旦停止させるセンタファインドモード機構とを備え、撮影位置を確認して撮影するX線一般撮影用システムであって、前記X線制御装置と制御部との間で選択された撮影術式に関する信号の送受を行う通信手段を設け、X線制御装置で選択された撮影術式を前記制御部で識別し最後に選択された撮影位置のみで前記センタファインドモード機構を作動させることを特徴とするX線一般撮影用システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記の目的を達成するため、本発明のX線一般撮影用システムは、横臥式撮影か立位式撮影かのいずれかの撮影術式を選択しX線管のX線撮影条件を設定するX線制御装置と、高電圧発生装置から高電圧が印加されるX線管を天井走行式で吊設保持するX線管保持装置と、前記撮影術式を識別する制御部と、撮影のための操作条件を設定し操作信号を発生させる操作パネルと、前記X線管保持装置の作動によってX線管が撮影位置にセットされ撮影を行う複数の撮影台と、前記天井走行式で懸垂されプリセットされた撮影位置でX線管保持装置を一旦停止させるセンタファインドモード機構とを備え、撮影位置を確認して撮影するX線一般撮影用システムであって、前記X線制御装置と制御部との間で選択された撮影術式に関する信号の送受を行う通信手段を設け、X線制御装置で選択された撮影術式を前記制御部で識別し最後に選択された撮影位置のみで前記センタファインドモード機構を作動させるものである。